



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・ひなまつり会の由来を知り、お友達と一緒に楽しむ。
- ・身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。

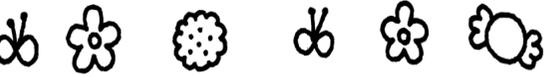


～今月の園内学習～

- ・足し算…3の段
- ・掛け算…3の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・魚への漢字…「こい」「ぼら」
- ・木への漢字…「けやき」「まさき」
- ・歴史カード…「日蓮」ほか
- ・ひらがなカード…「か行」
- ・国旗カード…タイほかアジア各国
- ・地理カード…大阪府ほか近畿地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・絵画カード…「春」他

♪今月の歌♪

◇たいせつなたからもの
カレンダーマーチ



～行事予定～

- ・ひなまつり会…1日
- ・消防イベント…1日 [年長 園外保育]
- ・書道教室…7日・21日
- ・英語教室…13日
- ・避難訓練…21日
- ・リミック…5日 [年中・年長]
26日 [年少]
- ・体操教室…15日 [年中・年長]
18日 [年少]
- ・身体測定…25日
- ・お誕生日会…29日
- ・卒園式…30日



～保育のポイント～

本当に愛する、とは何なのでしょう？考えれば考えるほどむずかしいことです。ですから、古くから思想家などが「愛とは何か」について追及してきました。それは、子どものために犠牲になってほしいと思ふ心に通ずるものではないでしょうか。他人から強いられた犠牲は悲劇ですが、自ら求めた犠牲は愛に結びつくものです。愛に関連して、この奉仕や犠牲は決して子どもを過保護に扱うことではなく、「子どもの気持ちになってみる」ということで換言すると「子どもを受け入れる(受容)」と表現できます。あるいは、子どもの立場に立って考えてみること——と言っていいのですが、「考える」こと以上に大切なことは、「感じる」ことで、謂わば 子どもの感情がわかること(共感的理解)と言えます。この受容する心があれば、日々の気に入らないような状態を示す子どもに対してすぐに叱ったりすることがなくなります。そして、(どうして気に入らなくなるのか)自問自答していく内に子どもの不安になっている感情が理解できるようになり、「気に入らない」という自身の気持ちが意外にも自分本位の狭い料簡だったことにハッとさせられることが多いのです。それを実効せしめるために必要なことの一つに「子どもの発達」についての知識をもつことが求められます。例えば、自発性が順調に発達していることにもは2歳から3歳にかけて第1反抗期が現れ、7、8歳頃には口答えが多くなります。このことが頭であれば、その現象を楽しむに待つことができますが、そうでないと「悪い子」と判断して叱ったりすることになるでしょう。ちょっとしたこのような知識が養育態度の違いに現れ、それは子どもの人格形成を左右しかねないので、どの年齢で、どのように扱いにくい状態を知っておくことは共感的理解の下、子どもののびのびとした人格形成に必要であることが理解いただけると思います。

～第一子を伸びる子に育てる本(平井信義著)より抜粋～



さくら組だより



まだ余寒に困惑させられるものの、明るく暖かみのある日差しが春本番の近さを感じさせる今日この頃。先月は数日前から「鬼、本当に来るの？」とコワコワ、ドキドキでその日を指折り数える姿に愛おしさを感じていました。当日、鬼の登場に「キャッ～」と驚きおののき、なす術なし状態でしたが、勇敢戦士の活躍で事なきを得ていました。生活発表会のお遊戯はお面や衣装の手づくりからスタートし、男の子チームは大好きな車両に扮し、女の子チームはお互いにお気に入りポーズを取り入れた内容のダンス練習をし、多少の緊張は見られましたが、今まで頑張ってきた成果を披露することが出来て何よりでした。この成功体験を今後も活かし、次年度ではさらなる飛躍を目指していきたいと思ひます。



ひまわり組だより



時折、押し寄せる厳寒に顔をしかめたくなることもあります。春はそこまできているようですね。先月、みんなは園での日頃の様子や月齢毎の表現の場で保護者の皆さんにかっこいいところを見ていただくよう練習を重ね、本番もいい形で終えることが出来て何よりと一安心しています。朝の会での体操、フラッシュカードや声に出して読みたい日本語を難なくこなしていきました。お遊戯は男女混成の2チームに分かれ、Aチームは曲中の台詞「ピカチュウ」の決めポーズが見せ場の「めざせポケモンマスター」を、みんなが息を合わせることが求められる振付けなども無難にこなしたBチームの「ダンスホール」などそれぞれが見応えある出来でした。合唱も一人ひとりが力強く歌い上げていたのが印象的でした。いよいよ来年度は就学期に向け、仕上げの一年です。一人ひとりがさらに磨きをかけていけるように見守っていきたく思います。



ゆり組だより



そろそろ春到来が実感できるような陽光の下、みんなにとって最後の園での発表会の場を設けることができたのは大変よろこばしく感じています。今回、みんなにとっては朝の会、お遊戯、鍵盤ハーモニカに合唱と全てにおいて有終の美を飾るのに最高のパフォーマンスが出来ていたと思いますので大変感動させられました。小劇「桃太郎」では衣装や舞台背景などの手づくりがはじまり、台詞や役づくりと色々大変な事ばかりだと思ひますが、見事にやり遂げていました。鍵盤ハーモニカに至っては当初の嫌々の状態からいつの間にか音階を覚え、弾くことが楽しいまでになり、当日は素晴らしい演奏会となりました。合唱でもみんなが園の最後を思う気持ちが歌詞全般に沁み込んだような感じでした。この成功体験を胸にし、これからはじまる就学期に自信をもって迎えることが出来るように最後の仕上げをしていきたく思ひます。



給食だより

～季節の変わり目、体調管理は万全に！～

3月は弥生、春本番の時期といってもいい時期。ただ、昼夜の寒暖差や気圧変化により疲れやすくなったり、「天気が悪いと古傷がうずく」といった言い伝えがあるように頭痛、気分の落ち込みや関節炎といった気象関連痛に見舞われる他、持病の鬱や喘息が悪化したりしやすい時期なので体調管理面でビタミン類などの栄養がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れて健康管理をしっかりとしていくようにしましょう。幸いなことに、今月旬を迎える食べ物にはビタミン類やミネラルなどの栄養素が豊富で、寒い冬の間には弱った身体の調子を整えてくれる食材ばかり。例えば、鉄分やビタミンB群が豊富で貧血予防に役立つカツオ、丈夫な骨づくりには欠かせないカルシウムを含む春告魚のさより、その独特な香り成分のアリシンが(糖質をエネルギーへと変換する役目)ビタミンB1の吸収率をアップさせてくれるニラ、体内の余分な塩分を排出し、高血圧症予防に役立つカリウムが豊富なトビス、酸化作用が老化防止や疲労回復に効果大なキウイフルーツ、そして免疫力を高めるビタミンCやお腹の調子を整える食物繊維にでんぷんを分解する消化酵素が含まれる蕪などがあります。これらビタミン類などの栄養素がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れた体調管理で元気に年度末そして新年度を迎えられるようにしていきましょう！